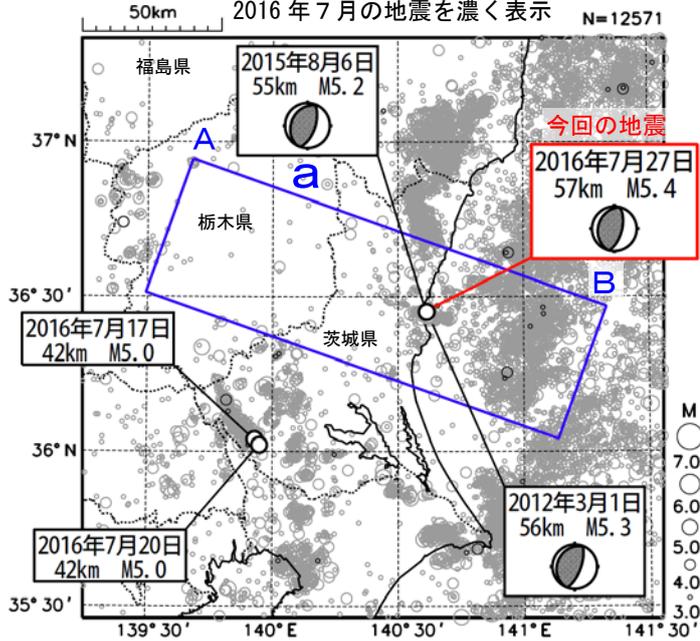


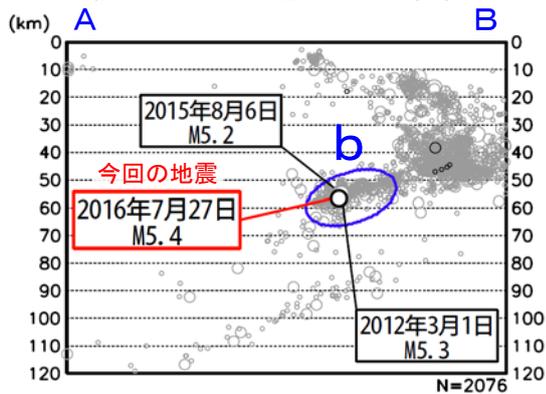
7月27日 茨城県北部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2016年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
2016年7月の地震を濃く表示 N=12571

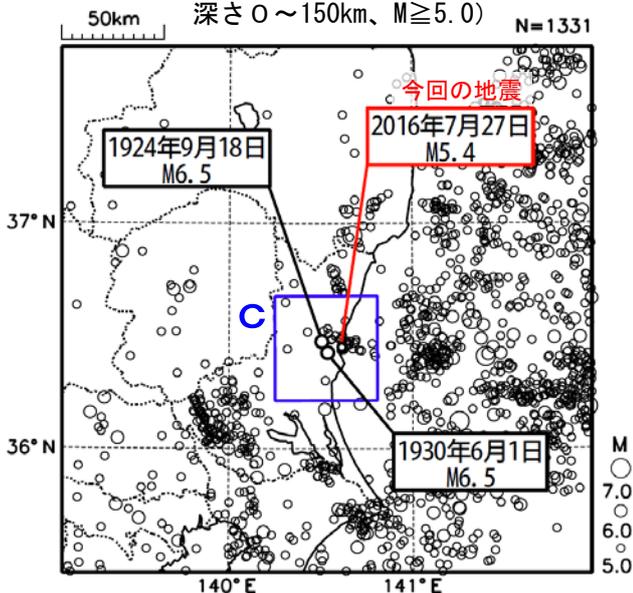


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2016年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$) N=1331

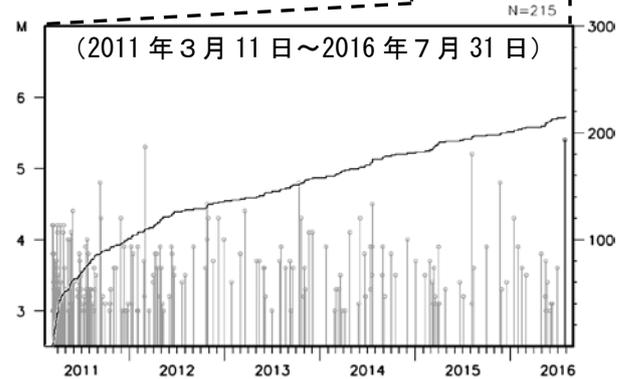
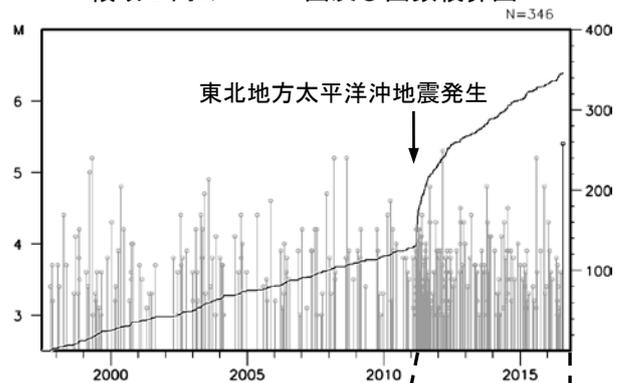


2016年7月27日23時47分に茨城県北部の深さ57kmでM5.4の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) は、M5程度の地震が時々発生している。「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日にはM5.3の地震 (最大震度5弱) が発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、M5.0以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生したM6.5の地震 (最大震度5) では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

